

薬剤の生成と保管



薬剤の原料をすりつぶして粉にする作業には、「薬研^{や げん}」と呼ばれる鉄製の道具が使われました。粉にした複数の薬を天秤で量って混ぜ合わせ、薬缶^{や かん}で煮出し、それを茶碗に注いで患者に飲ませていました。(現在、お湯を沸かすために使われているやかんは、この薬缶が日用品としても使われるようになったものです)

往診が中心だった当時、持ち運びしやすい薬箱は、医者にとっての必需品でした。

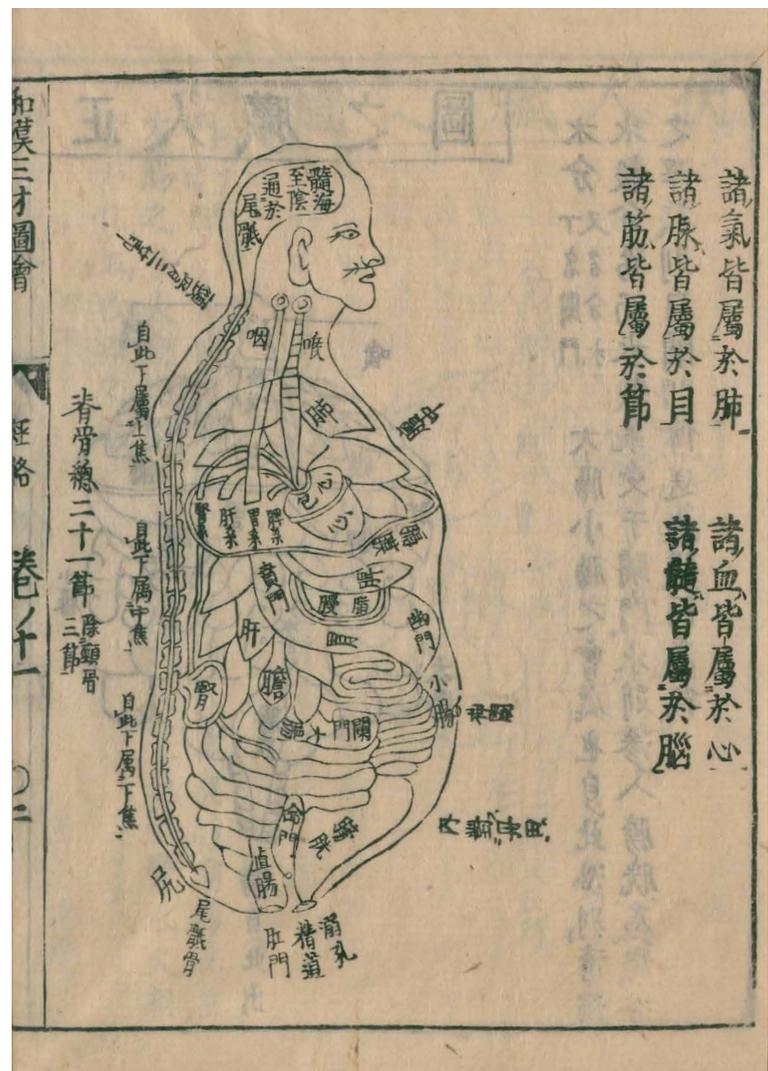
日本初の百科事典「和漢三才図絵」



大坂の医師・寺島良安が師から「医師たる者は宇宙百般の事を明らむ必要あり」と言われたことが執筆の動機。

「三才」すなわち天・地・人を対象に全105巻81冊で構成された大著。

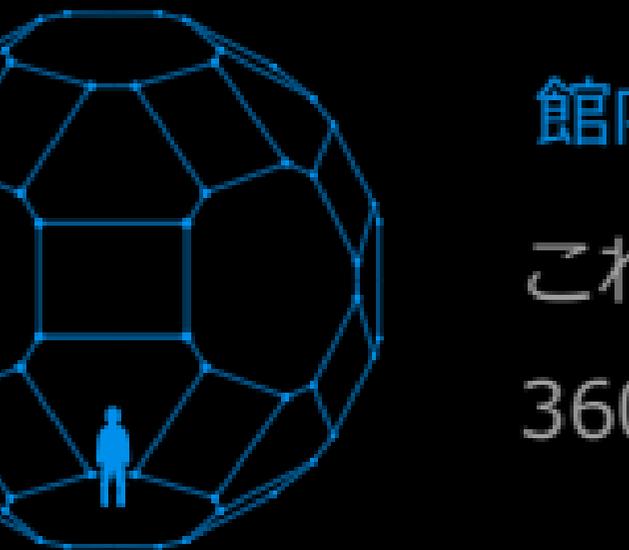
和漢の事象を比較考察し、図解したもので、30余年もの歳月をかけて完成させた。特に東洋医学に関する記述は非常に正確とされています。



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.